

平成28年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち			◎：達成、○：ほぼ達成、△：未達			
環境保全項目		さわやかな空気と静けさを確保する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
1-1	大気汚染環境基準達成度の公表	さわやかな空気と静けさを確保する	大気汚染の防止	大気汚染環境基準達成度（二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質）の公表 光化学オキシダント環境基準達成状況の公表	環境基準達成度 100% 光化学オキシダント環境基準達成状況の公表	◎	環境レポートにより公表した。 大気汚染環境基準達成度：100% 光化学オキシダント環境基準達成状況：超過日数84日	生活環境課
1-1	一般地域における騒音調査及び測定（一般地域騒音環境基準達成度）	さわやかな空気と静けさを確保する。	騒音・振動・悪臭の防止	一般地域における騒音調査及び測定	一般地域騒音環境基準について、市内11地点の騒音を調査測定し、状況を公表する。環境基準達成率90%以上。	◎	大気汚染環境基準達成率100%	生活環境課
1-1	道路交通騒音調査及び測定（道路騒音環境基準達成度）	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	道路騒音の常時監視における騒音調査を実施する。	環境基準達成率100%	◎	達成率：100%	生活環境課
1-1	新幹線鉄道騒音調査及び測定（新幹線鉄道騒音環境基準達成度）	さわやかな空気と静けさを確保する	騒音・振動・悪臭の防止	新幹線鉄道の騒音について調査、測定を実施。	平成23年度より環境基準達成度の向上	△	達成率：20%	生活環境課
1-1	地域鉄道の利用促進	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関である地域鉄道の利用促進を図り、自家用車の使用の削減させます。	上田電鉄別所線としなの鉄道の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	上田電鉄別所線利用者 目標1,200,000人	◎	別所線については、別所線電車存続期成同盟会を中心とした利用促進イベント等を開催し、利用促進に努めた。 しなの鉄道については、沿線市町で構成するしなの鉄道活性化協議会との連携により、利用促進に資する事業を実施した。	交通政策課
1-1	循環バス運行施策	さわやかな空気と静けさを確保する	公共交通機関であるバスの利用促進を図り、自家用車の使用を軽減させます。	「上田市循環バス」と「オレンジバス」の利用者が増加するよう施策を検討し、利用啓発活動を行う。	循環バス等利用者 目標55,000人	◎	循環バス利用者は、前年度に比べ、約11%減少、オレンジバス利用者は、約9%減少した。その結果、全体でも前年度を下回り、目標を達成できなかった。	交通政策課
1-1	まちなかレンタサイクル事業	さわやかな空気と静けさを確保する	自転車を出し出し、自動車に頼らない市街地移動を推進する	上田駅周辺の放置自転車を整備して貸し出す。 貸し出し可能自転車：常時15台	利用者数：3,500人	◎	平成28年度の利用者数（延べ）4,135人 対前年度比：4,135人／3,168人＝1.305 対前年度までの平均比：4,135人／3,093人＝1.337	都市計画課
1-1	レンタサイクル推進事業	自動車からレンタサイクルに乗り換え二酸化炭素を減量する。	レンタサイクル利用でエコな観光施設巡りを体験し、環境負荷軽減を目指す。	ゆきむら夢工房を拠点に、レンタサイクルで観光施設を巡る。	レンタサイクルの利用目標 平成28年度 延べ950台	◎	H28年度目標が950台に対し、H28年度の実績が2,769台であり、大幅に増加した。	真田産業観光課
1-1	丸子文化会館施設管理運営事業	良好な環境と循環の仕組みに支えられたまち	各種事業時、車両乗り合わせによる参加の呼びかけを実施します。＜事業周知時の呼びかけ＞	事業における呼びかけチラシによる啓発	駐車台数の削減	△	下半期に実施した2つの自主事業のチラシに、乗り合わせの呼びかけの記載を忘れてしまった。	丸子地域教育事務所

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち						
環境保全項目		きれいな水と安全な土壌を確保する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
1-2	公共下水道事業・農業集落排水事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道事業・農業集落排水事業を推進する	・公共下水道計画区域内の未整備箇所を解消し普及率の向上を目指す	・下水道未整備箇所の解消 7箇所解消	◎	年度末までに未整備箇所8箇所を整備し下水道が供用された。これにより、河川等の水質改善が図られた。	下水道課
1-2	下水道の普及促進	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道事業、農業集落排水事業等を推進します	・取付管立会い時の啓発（随時） ・戸別訪問の実施（通年） ・下水道未接続者に対する啓発文書発送	水洗化率 ・平成28年度末の下水道水洗化（利用）率を91.0%に向上させる 確認申請件数 ・620件を目標とする。	◎	・水洗化率 91.9% ・確認申請件数 814件 131.3% ・下水道未接続者宅の戸別訪問 2,460戸実施 ・啓発文書の発送は戸別訪問に切り替えた	サービス課
1-2	合併処理浄化槽設置整備事業（合併処理浄化槽設置整備事業実施基数）	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での新設22基	○	補助件数：20基 交付申請があつた件に関して対応している。	生活環境課
1-2	河川水質調査及び検査（主要河川BOD環境基準値達成度）	きれいな水と安全な土壌を確保する	水質汚濁の低減	市内河川の調査地点について、河川の状況を把握するため水質調査を実施する。また、結果を環境レポート等で公表する。	主要河川のBOD環境基準値達成度100%（年間平均）	◎	年平均100%達成	生活環境課
1-2	地下水水質調査及び検査（地下水環境基準達成度）	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下水汚染の防止	市内の地下水（井戸水）について、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素を含む水質検査を実施する。	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値達成。	○	75%達成 （12地点中9地点）	生活環境課
1-2	地下水水質調査及び検査（地下水質低沸点有機塩素系化学物質の基準値達成度）	きれいな水と安全な土壌を確保する	地下汚染水の防止	市内12地点の地下水（井戸水）について、年一回低沸点有機塩素系化学物質（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン）を含む項目を調査。	低沸点有機塩素系化学物質（トリクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン）の環境基準値の達成。	◎	100%基準値達成	生活環境課
1-2	合併処理浄化槽設置整備事業	きれいな水と安全な土壌を確保する	公共下水道・農業集落排水の整備区域外において、合併処理浄化槽の設置を促進する。	申請に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置整備事業での設置2基	◎	年間で3基の申請があり、補助金を交付しました。	丸子市民サービス課
1-2	排水設備の普及促進	きれいな水と安全な土壌	下水道の早期接続	・下水道の早期接続の電話・戸別訪問 ・郵送による普及促進活動	・新規接続戸数 65戸 ・水洗化率 90.0%	◎	新規接続152戸	丸子・武石上下水道課

平成28年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		安全で健康に暮らせるまち			◎：達成、○：ほぼ達成、△：未達			
環境保全項目		有害化学物質による汚染を未然に防止する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
1-2	ダイオキシン類の環境汚染調査（ダイオキシン類環境基準達成率）	有害科学物質による汚染を未然に防止する	有害科学物質による汚染の防止	年一回、一般環境大気5カ所、河川2カ所、土壌3カ所等について調査。	環境基準値達成。	◎	大気5地点、河川3地点、土壌3地点、低質地2地点でいずれも環境基準値達成	生活環境課
1-2	鉛給水管布設替え	有害化学物質による汚染を未然に防止する	鉛給水管の解消	鉛給水管布設替計画修繕対応 24件 故障修繕対応 0件 計 24件	鉛給水管布設替箇所数 14件	○	鉛給水管残14箇所は、本管布設替工事に併せて更新予定。今年度分工事として11箇所を発注し、現在施行中。残りは新年度以降。	上水道課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち						
環境保全項目		森や里山を守り・親しむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
2-1	造林事業	森や里山を守り・親しむ	森林の育成・保全を図る	○森林の多面的機能や公益性を維持するため、継続的な間伐等の整備を行う。	○県森林税等利用した（切捨）間伐150haの実施	○	○間伐等159ha実施（年度末全体）	森林整備課
2-1	樹種転換事業	森や里山を守り・親しむ	樹種転換により、松林の保全を図る。	○アカマツ林を全て伐採し広葉樹に植え替えることにより、松くい虫被害の拡大を抑制を図る。	○被害木6.5haの樹種転換の実施	◎	○樹種転換2.29ha実施（年度末全体）	森林整備課
2-1	松くい虫防除対策事業	森や里山を守り・親しむ	松くい虫被害を防除し、健全な松林を育てる	○松くい虫被害の拡大を抑制するため、被害木の被害木の全量伐倒駆除の実施	○被害木4,100㎡の伐倒薬剤処理	◎	○伐倒くん蒸6,227㎡実施（年度末全体）	森林整備課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち						
環境保全項目		水辺環境を守り・親しむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
2-2	農業用水路の多自然型水路整備箇所	水辺環境を守り・親しむ	農業用水路において、環境に配慮した工法を推進します。	地元への啓発活動	地元からの要望を受け、順次整備を図る	○		土地改良課
2-2	多自然河川整備状況	水辺環境を守り・親しむ	ホタル水路の環境整備を図るとともに、啓発活動に努める。	地元との協働により、市役所ロビーにおいて、啓発ポスターを掲示。	ホタル水路に係る啓発活動	○		土地改良課
2-2	多自然型河川整備	自然の保全・活用	水環境の保全	・現在のところ、具体的な整備予定箇所はないが、地域等の要請があれば、予算化により実施する。	・河川事業の工法検討時に、地元要望や自然環境に特に配慮する必要があると判断される場合には、多自然型工法により河川整備を行う。	○	・今年・今年度発性した河川災害では、「美しい山河を守る災害復旧基本方針」に基づき国庫補助河川災害復旧事業を申請し、認められた工法により復旧を行った。	土木課
2-2	河川愛護活動（河川愛護団体数）	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	河川愛護活動の実施	河川愛護活動を実施した団体数 52団体	◎	上田：56団体 丸子：23団体 真田：10団体 武石：2団体	生活環境課
2-2	水生生物調査及び支援	水辺環境を守り・親しむ	持続可能な水環境の保全	水生生物調査及び支援	13カ所で実施。	◎	13カ所で実施した。	生活環境課
2-2	水環境保全事業	水環境の保全	水環境の保全に関する意識の啓発を図る。	・水道週間イベント開催補助 ・うえた環境フェア出展	上下水道事業を紹介し水環境保全のための啓発活動を行う。	◎	・10月15日開催の「うえた環境フェア」に出展して、環境負荷低減の取組等を紹介した。 ・6月12日の染屋浄水場の一般開放、7月3日に開催した千曲川上流を訪ねるツアー、そして「上田環境フェア」への出展を通じて水環境保全のための啓発活動を行い、環境目標を達成することができた。	経営管理課
2-2	多自然型水路整備	自然・生き物・人が共生するまち	農業用水路において環境に配慮した工法を推進します。	多自然型水路を1箇所整備する。	実績数値による。	◎	・豊越 石原地区 ・工法 丸太水路 ・事業量 L=8.8m	丸子建設課

環境基本計画基本目標		自然・生き物・人が共生するまち						
環境保全項目		農環境を守り・親しむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
2-3	認定農業者（担い手）の確保	農環境を守り・親しむ	担い手の確保により農地の保全・活用を図る。	担い手農家となる認定農業者の更新と、新規認定の促進	認定農業者数合計 28年度目標 合計235経営体	△	10月、2月に審査会を開催し、更新42経営体、新規3経営体、合計45経営体を認定した。	農政課
2-3	荒廃農地の再活用	農環境を守り・親しむ	農地の保全・活用を図る。	農地の再生利用の促進	補助金交付により再生が実施される面積 28年度目標 2,0ha	△	なかなか厳しい現実もあり、目標値には至らなかった。	農政課
2-3	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農環境を守り・親しむ	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 28年度目標 80ha	◎	目標値を超える実績となった。	農政課
2-3	農業法人（担い手）の確保	農環境を守り・親しむ	担い手となる農業法人の確保により農地の保全・活用を図る。	新たな法人の設立への支援	集落営農組織の法人化の検討 2件	△	具体的な検討には至らなかった。	農政課
2-3	遊休荒廃農地の解消（活用）による農地の有効利用	農環境を守り・親しむ	農地と農環境の保全（数値目標平成27年度遊休荒廃農地解消面積10ha）	・遊休荒廃農地の解消（活用） ・利用状況調査の実施 ・新規発生分の意向調査実施	・補助事業等を活用した遊休荒廃農地の解消 ⇒28年度解消目標面積10ha	△	・11月～1月 遊休農地所有者等に対する意向調査実施 対象農地：684筆、所有者：539人 ・解消農地実績：35筆、4.2ha	農業委員会事務局
2-3	担い手への農地の利用集積による優良農地の確保	農地の保全・活用	農地の保全・活用を図る。	担い手農家への農地の利用集積の促進	農用地流動化促進奨励金対象面積 27年度末 10.7ha ⇒28年度目標 10ha	◎	公告するため、提出のあった農用地利用集積計画を定期的に報告した。 面積 16.1ha を達成した。	真田産業観光課
2-3	多面的機能支払制度	農地の有する緑地機能、環境機能の保全を図る	水路、農道等を含め、農地を農地として維持することにより発揮される、国土の保全、水源涵養、景観形成等の多面的機能を支える活動組織を支援する	平成26年度からスタートした多面的機能支払制度の活動組織の設立のサポートを行い、地域資源の多面的機能が適切に発揮されるよう、バックアップする	希望する団体に対し説明会を行い、1つの組織を立ち上げる。	◎	大日向地区及び横尾地区の希望団体に対し、説明会などを行った。 また、5月12日には大日向水土里会の組織が設立された。	真田建設課

平成28年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目		循環型社会の形成に努める						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	3-1 生ごみ堆肥化事業	循環型社会の形成に努める	循環型社会の形成に努める	1 生ごみ堆肥化モデル事業 2 ごみ減量化機器購入費補助事業 3 乾燥生ごみと野菜等との交換事業「やさいまる」	1 乾燥生ごみによる堆肥化の実証実験の実施 やさいまる事業…ポイント交換数200回 2 ごみ減量化機器利用者の増加 補助台数720台 3 1人当たりのごみ排出量の減少	○	1 生ごみ堆肥化モデル事業 ・小中学校6校、保育園1園から生ごみを回収し、試験施設で堆肥化 実績7.4t（昨年同相比0.1t減） 2 ごみ減量化機器等購入費補助金 ・広報うえだ等で補助制度を周知 ・補助実績（容器、処理機） 998台 3 1人当たりの1日のごみの排出量（可燃） ・実績586g 4 やさいまる事業 ・乾燥生ごみを回収しポイント付与 ・回収量（乾燥重量）897kg ・ポイント交換数48回	廃棄物対策課
	3-1 市民協働による環境にやさしい地域の創造	循環型社会の形成に努める・環境にやさしい人をはぐくむ	資源循環型社会の形成に向けた意識の高揚	1 エコ・ハウスの運営 2 ごみ減量アドバイザーの活動	1 エコ・ハウス来館者数 2,000人以上 2 新たなごみ減量アドバイザーの委嘱、研修及び実地等による人材育成	◎	1 エコハウスの運営 ・来館者数 2,397人 ・各種講座の開催、情報発信（随時） ・「古着回収」（毎月1回） 回収実績 23.97t 2 ごみ減量アドバイザーの活動 ・啓発活動は随時実施 ・ごみ減量化機器使用状況調査を実施 ・エコストア現状調査の実施	廃棄物対策課
	3-1 丸子地域消費生活展の開催	循環型社会の形成に努める。環境にやさしい地域をはぐくむ。	各種団体と協力して、廃棄物の減量と資源再利用の促進に努める。	丸子地域消費生活展の開催（委託） 11月 開催予定	来場者予定数 600人 アンケートによる来場者満足度 80%以上	◎	10月5日 第2回役員会 10月12日 全体会 11月18日 前日準備 11月19日 丸子地域消費生活展開催 来客者数 628人 来場者満足度 92.51%	丸子市民サービス課
	3-1 ごみ減量化機器等購入費補助事業	循環型社会の形成に努める	ごみ減量化機器等に関する補助や情報提供を進める。	ごみ減量化機器等の購入に対する補助金交付	補助金交付件数 129件 （前年度比5%増）	△	補助金交付件数 49件 （前年度比▲40%）	丸子市民サービス課
	3-1 給食計画及び献立作成/物資の購入/給食の調理及び配送	循環型社会の形成/農環境を守り・親しむ/地球温暖化防止活動の推進	①地産地消の推進、②給食残渣の再利用	地産地消の推進 給食残渣の再利用	地産地消の推進 地元産食材使用割合45% 給食残渣の再利用 継続実施	△	②28年度地元産材利用割合 39.5% ③地元養豚業者へ飼料として提供してきている。	丸子学校給食センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目		地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
	3-2 上田市関係機関からの温室効果ガス総排出量の削減	地球温暖化防止活動を推進する	エコオフィスうえだの推進	・「第三次上田市役所地球温暖化防止実行計画」の推進を図る。 ・長野県に「温室効果ガス排出抑制計画」を提出し、推進を図る。	市の事務事業の遂行に伴い排出される温室効果ガスの総排出量を、第三次の目標年度である平成29年度までに平成23年度を基準として、1.0%削減。	◎	夏・冬の節電対策を実施し、エコオフィス活動を推進した。	生活環境課
	3-2 公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	地球温暖化防止活動を推進する	公共施設の地球温暖化対策の推進	公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討	全庁的な取組体制により、公共施設・公共用地等を利用した再生可能エネルギー活用事業の検討を進める。	△	事業延期	生活環境課
	3-2 太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	太陽光発電、太陽熱利用普及促進補助	(1) 太陽光発電システム設置費補助 300件 (2) 太陽熱高度利用システム設置費補助 10件	○	太陽光発電：264件 太陽熱利用：10件	生活環境課
	3-2 環境家計簿の配布	地球温暖化防止活動を推進する	家庭版ISOの普及を推進する	・広報等へ募集掲載 ・環境家計簿の配布・回収・評価	うえだエコ隊参加（環境家計簿回収）家庭数 5世帯	△	回収数は1件のみであった。	生活環境課
	3-2 うえだ環境フェア（消費生活展）の開催	地球温暖化防止活動を推進する	市民の環境配慮行動の推進	うえだ環境フェアの開催 10月24日（土）	①来場者数 1,000人 ②アンケートによる来場者満足度 90%以上	◎	来場者数：1,030人 満足度：93%	生活環境課
	3-2 国際規格審査登録助成事業	環境にやさしい人をはぐくむ	ISO14000S等の国際規格を導入する事業者に対する補助金の交付	補助制度によりISO14000S等の国際規格の取得を支援	事業所を訪問し、助成制度について説明する。（5件）	◎	事業所訪問による周知（3件、年間6件） （経営実態調査の際に、約200社に対して書面にて周知）	商工課
	3-2 LED防犯灯設置基数補助	地球温暖化防止活動を推進する	自然エネルギー・省エネルギーの普及	LED防犯灯の新設補助	新設 209基	◎	288件	生活環境課
	3-2 集中管理者のガソリン及び軽油の使用量の削減	二酸化炭素の排出を抑制し地球温暖化の防止	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、ガソリン及び軽油の使用量の削減を目指します。	集中管理車11台のガソリン及び軽油の使用量の削減	平成27年度実績の3.0%減（ガソリン4,166ℓ、軽油5,807ℓ）	△	・28年度下半期車両燃料使用量削減状況（10月～3月） ガソリン 1997.07L（27年度後期比2199.72L→-202.65L、-9.2%） 軽油 2734.94L（27年度後期比2887.30L→-152.36L、-5.3%） ・28年度年度末車両燃料使用量削減状況 ガソリン 4,202.46L（27年度年度末比4295.89L→-93.43L、-2.2%） 軽油 6,736.28L（27年度年度末比5978.07L 758.21L、+12.7%）	丸子地域振興課
	3-2 消費電力量の削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	庁舎の電力消費量削減	前年度実績の1.5%減（316,296kw h）	△	・エレベータの休日停止（H22から継続中） ・エレベータの平日夜間（夜18時から朝7時まで）停止（H23から継続中） ・H28下半期電気使用量 178,789kw（H27下半期比169,619kw +9,170kw、+5.4%） ・H28年度年度末使用量 325,777kw（H27年度年度末使用量 321,113kw、+4,664kw、+1.5%）	丸子地域振興課
	3-2 丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	地球温暖化防止のための温室効果ガス排出の削減を図る	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、温室効果ガス排出削減を進めます。	丸子地域自治センター関連施設の可燃ごみ削減	前年度実績の0.5%減（28,457kg）	◎	・H28年度下半期 12,710kg（H27下半期比 13,230kg →-520kg、-3.9%） ・H28年度年度末 28,390kg（H27年度年度末比 28,600kg →-210kg、-0.7%）	丸子地域振興課
	3-2 グリーン購入の実施	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくりを行う	上田市の環境目標「地域資源を活かし地球にやさしいまち」を実現するため、グリーン購入率を高めます。	物品調達におけるグリーン購入の推進	物品調達におけるグリーン購入率を72%以上とする	○	H28下半期 00.0% (H27下半期 70.8%、+9.4%) H28年度年度末 00.0% (H27年度末 00.0%、+0.00%) 前年同期と比較すると、9.4%の増となり、目標もクリアした。下半期も、引き続きグリーン購入の推進を図ることとしたい。	丸子地域振興課

平成28年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環境保全項目		地球温暖化防止活動を推進する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
3-2	新エネルギー活用施設（太陽光発電・太陽熱利用施設）施設補助事業	地球温暖化防止活動を推進する	新エネルギー・省エネルギーに関する補助や情報提供を進める。	新エネルギー活用施設に対する補助金交付	補助金交付件数の維持（平成27年度水準を維持）	△	年間申請件数30件（太陽光28件、太陽熱2件） ＊目標43件	丸子市民サービス課
3-2	市民サービス課所有車の燃料使用の抑制	市民サービス課における地球温暖化防止活動の推進	地域資源を活かし地球にやさしいまちづくり	市民サービス課 環境・廃棄物担当が所有する庁用車のガソリン、軽油使用量の削減	・ガソリン(所有車両2台分)の使用量削減…過去2カ年の平均値964ℓを目標値とする。 ・軽油車(2台分)使用を、昨年度から1％削減 目標値2,404ℓ	○	①ガソリン使用量・・・916.3リットル（目標964リットル） ②軽油使用量・・・2,522.5リットル（目標2,404リットル）	丸子市民サービス課
3-2	環境保全事業	地球温暖化防止活動を推進する。	ISO14001などの事業者に対する環境マネジメントシステムに関して情報を提供し事業者を支援する。	工業3団体への説明会の実施 団体会員への取得支援の情報を年2回以上情報提供する。	1社以上の取得を目指す。	○	・予定通り工業振興ニュース等で取得支援の情報提供を実施（7月、9月の計2回）	丸子産業観光課
3-2	移動図書館車の運行	地域資源を活かし地球にやさしいまち	あおぞら号の利用冊数の向上を図る。	移動図書館車の運行（丸子・武石地域、年間約150日運行）	貸出冊数 21,000 冊	◎	10月～3月まで移動図書館の運行（丸子・武石地域72日） 貸出冊数10,695冊	丸子図書館
3-2	エコオフィスうえた	環境にやさしい製品等の購入の推進	グリーン購入の推進	物品等の購入についてエコマーク、グリーンマーク、省エネマークなどの環境ラベルリング商品を優先的に購入する。	購入物品の60％以上をグリーン購入とする。	○	・H28は物品の購入が少なかつ	武石市民サービス課
3-2	省エネに努めるエコ事業所		職員、指導員及び通所利用者の環境負荷の軽減に向けた意識の変革	施設内の環境整備に努め、節電、節水、燃料の削減に努める。	ガソリン トーℓ4,500ℓ 月平均380ℓ 軽油 トーℓ2,500ℓ 月平均210ℓ 石油 トーℓ4,000ℓ 月平均333ℓ 電気 トーℓ20,000Kw月平均1,666Kw 水道 トーℓ450m3 月平均38m3	◎	ガソリン トーℓ3,951ℓ 月平均329ℓ 軽油 トーℓ1,955ℓ 月平均163ℓ 石油 トーℓ4,038ℓ 月平均336ℓ 電気 トーℓ17,551Kw月平均1,463Kw 水道 トーℓ411m3 月平均34m3 水道についてトイレで漏水があった受注量の減により目標を大幅に下回っている。	社会就労センター武石事業所
3-2	エコオフィスうえた	環境にやさしい製品等の購入の推進	グリーン購入の推進	物品等の購入についてエコマーク、グリーンマーク、省エネマークなどの環境ラベルリング商品を優先的に購入する。	購入物品の50％以上をグリーン購入とする。	◎		武石健康センター

環境基本計画基本目標		地域資源を活かし地球にやさしいまち						
環 境 保 全 項 目		地域資源を有効利用する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
3-3	雨水貯留槽補助	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める	雨水貯留施設設置費補助	32件	△	16件	生活環境課
3-3	雨水貯留施設設置補助事業	地域資源を有効利用する	雨水貯留施設に関する補助や情報提供を進める。	雨水貯留施設に対する補助金交付	補助金交付件数 8 件	△	申請件数 0 件	丸子市民サービス課
3-3	漏水調査	水資源の有効活用	有収率の向上	漏水調査 地区別漏水の委託調査 重点地区の漏水調査	本年度有収率70％台を維持する	◎	丸子 7 1 . 7 6 % 武石 6 9 . 9 8 %	丸子・武石 上下水道課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にするまち						
環 境 保 全 項 目		歴史・文化を未来に引き継ぐ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
4-1	文化財の保存・整備	歴史・文化を未来に引き継ぐ	史跡・歴史・文化的遺産の調査と保護	指定文化財の保存・整備に努めるとともに、指定文化財の増加に努める。	文化財の指定及び登録有形文化財の登録を2件以上	○	文化財の指定候補物件がなかったため、後期は文化財保護審議会は開催されなかった。 歴史文化基本構想の策定業務は、古民家約150件、仏像約610件を調査し、貴重な発見があった。	文化振興課
4-1	文化芸術振興事業	歴史・文化を未来に引き継ぐ	市民の環境に対する意識の啓発	文化芸術振興事業に関するチラシ・パンフレット等印刷物に環境に対する啓発の文言を加える。	チラシ・パンフレット等印刷物に啓発文言の記載 チラシ・パンフレット等の印刷物に、古紙・大豆インク使用のマークを記載	◎	各種チラシ・パンフレット類を計画通りに作成した。	文化振興課
4-1	指定文化財デジタルアーカイブ化	歴史・文化を未来に引き継ぐ	史跡・歴史・文化的遺産の調査と保護による市民の環境に対する意識の啓発	指定文化財に関するアナログデータのデジタル化	上田市文化財マップへのデータ追加	○	直接の事業はなかったが、冊子「ふるさと上田人物伝」を作成することにより、29年度以降マルチメディア情報センターの人物伝を改善できるようになった。	文化振興課

平成28年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち			◎：達成、○：ほぼ達成、△：未達			
環境保全項目		緑あふれるまちをつくる						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
4-2	街路樹植樹事業	緑あふれるまちをつくる	街路樹の植樹延長を増やし、まちに潤いとやすらぎをもたらす	市道橋下泉平線整備に伴う街路樹植樹	市道橋下泉平線植栽工事の発注及び施工街路樹の整備が望まれる路線立上げの検討	○	道路に隣接した緑地スペースに「尼が淵桜の回廊」A=300㎡の整備工事を発注し、平成29年5月末に完成見込みです。 ・新規路線については、継続的に検討を進めます。	都市計画課
4-2	景観形成事業	緑あふれるまちをつくる	生垣設置の補助を行い、緑化の推進を図る	・広報うえだ、行政チャンネル等でのPR ・補助件数15件（予定）	・補助金を出した生垣の延長（本年度延長150m）	△	上半期と変わらず、補助の状況は4件20万円であった。	都市計画課
4-2	花と緑のまちづくり推進事業の実施（1）	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花の種銀行 口座開設者数 920人以上 ① ・種から育てる花づくり講習会の開催3回 ②③④	・花の種銀行会員数（延べ口座開設者 919人） ・花づくり講習会 開催回数 年間3回	◎	①花の種銀行 口座開設者928人 ②花づくり講習会：4月に実施しました。 ③花づくり講習会：9月に実施しました。 ④花づくり講習会：3月に実施しました。	公園緑地課
4-2	花と緑のまちづくり推進事業の実施（2）	緑あふれるまちをつくる	緑化の推進	・花苗配布 130,000本 ①②	・地域自治会等に配布する花苗本数（130,000本）	◎	①花苗配布（夏苗）：6月に実施しました。 ②花苗配布（秋苗）：10月に実施しました。 花苗配布合計137,522本	公園緑地課
4-2	緑地の保全（染屋台グリーンベルト保全事業）	緑あふれるまちをつくる	緑地の保全	里山整備ボランティア 年5回	市街地近郊の貴重な自然環境を形成している染屋台グリーンベルトを環境保全（地球温暖化防止、ヒートアイランド現象の緩和）の面から積極的に保全をする必要があることから、上記事業を実施し、市民の理解を深める。	◎	①～⑤里山整備ボランティア：実施済み	公園緑地課
4-2	公園施設長寿命化対策支援事業	ライフサイクルコストの縮減	都市公園のストックマネジメント	公園施設改築・更新 N=1公園	対象公園数 39公園	◎	公園施設改築・更新を2公園実施しました。（上田城跡公園、西部公園）	公園緑地課
4-2	花いっぱい運動参加者の増加	緑あふれるまちをつくる	住民参加により地域内の道路沿線等の緑化を図る	1 住民参加のための施策検討 2 住民参加による緑化 3 住民環境啓発	新規団体受付、植栽場所検討 住民による花苗植栽 3,000人 コンクールへの参加 球根植栽団体 講習会への参加	○	11月 ⑧次年度用 花苗本数等調整（べ切H29.11.30） ・72団体（9種類 N=65,800本の希望があった。） 12月 ⑨花壇コンクール表彰式（H29.11.4） ・丸子地域（4団体が花壇表彰を受ける。） 3月 ⑩花づくり講習会（上田（公園緑地課）にて開催）H29.3.14 ⑪肥料の配布・72団体（H29.3.15） ・有機肥料 N=210袋 ・化成肥料 N=100袋 ・炭酸苦土石灰 N=50袋 ※ 72団体→73団体（3,132名）へ増加した。 （H29.2.14加入）（丸子中つゆさ会：1団体（約250名）の増加）	丸子建設課
4-2	住民参加による花壇管理	緑あふれるまちをつくる	市民が丸子ベルパーク内の花壇を管理することで、市民主導による地域内の緑化推進を浸透させる。	1 ボランティアによる花壇管理	ボランティア参加者 150人	○	11月 ④花壇植替え堀上作業（H29.10.19） 13名参加 ⑤花壇の植栽（H29.11.2） 8名参加 ※「花だより2017」の編集委員会等の開催 「花だより2017」丸子地域へ全戸配布 チラシ N=8,000部 ※まるこ花と緑の会の活動報告等 ⑥土作り（堆肥等の配布） ※まるこ花と緑の会 幹事会（H29.3.8） 6名参加 ・H28年度事業報告及び決算報告 ・H29年度事業計画（案）及び予算（案）	丸子建設課

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち						
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
4-3	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり協定の締結を推進し、優れた街なみの形成を図る	自主的なルールづくりに向けた機運の高まってきた地区に対して、協定締結に向け、指導・助言をする。	認定数（1）	△	年度を通して、5月の説明、1回に留まった。	都市計画課
4-3	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	市民・事業者に対する景観づくりの意識啓発	景観ウォッチングの実施	景観ウォッチングの実施（2回）	◎	今年度の2回目を10月29日に予定どおり実施し、16名の参加者があった。 年度をとおし、一定程度の景観意識の醸成が図られた。	都市計画課
4-3	景観形成事業	調和のとれた美しい景観を保つ	景観づくり市民団体等の認定	景観づくり市民団体及びアダプトシステム協定締結団体等の検討	景観づくり市民団体数、及びアダプトシステム協定箇所数（各1）	△	上半期に続き、地元において組織化が進んでいる。H29年度以降にアダプトシステム協定締結に向けて、引き続き努力していく。	都市計画課
4-3	無電柱化事業	調和のとれた美しい景観を保つ	道路の無電柱化を推進し、周辺環境との調和を図る	市道新参町線の無電柱化工法の検討 県街路事業2路線の電線類地中化工事への支援	無電柱化に向けた電線管理者との協議開始 県街路事業への負担金による支援の継続	○	・市道新参町線の無電柱化に向け、平成29年度より調査設計に着手する見込みとなりました。 ・県街路事業への負担金は、事業費の確定に伴う清算により支援を継続し、事業の進捗を図りました。	都市計画課
4-3	ごみゼロ運動の参加人数	調和のとれた美しい景観を保つ	地域美化活動の推進	ごみゼロ運動の実施（県下一斉で年一回）	参加人数 10,800人	◎	参加人数 10,800人 今年は平日に実施したため、例年以上に啓発物品を配布できた。	生活環境課

平成28年度 環境目的及び目標一覧表

環境基本計画基本目標		歴史や調和を大切にすまち			◎：達成、○：ほぼ達成、△：未達			
環境保全項目		調和のとれた美しい景観を保つ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
4-3	犬猫の糞尿害対策	調和のとれた美しい景観を保つ	犬猫の糞尿害に対する対策を推進する。	犬猫の正しい飼育方法の周知 自治会による周知や看板設置の協力依頼 (随時)	苦情件数 10件以下	◎	9月までに苦情件数3件(犬の糞)があった。年間を通して、3件の苦情件数(犬の鳴き声があるさい)がありました。	丸子市民サービス課
4-3	上田市ポイ捨ての防止等に関する条例に基づく環境美化活動の推進	調和のとれた美しい景観を保つ	ポイ捨て等防止条例に基づき環境美化活動を推進する。	環境美化監視員によるパトロール	パトロール回数 4班 月3回 延べ144回 不法投棄ごみの量 6,530kg (前年度比10%削減)	○	①パトロール回数 144回 ②不法投棄ごみの量 2,770kg(可燃750kg、不燃2,020kg) (年間目標5,210kgと比較し、6.3%増)	丸子市民サービス課
	道路建設工事(歩道設置)	人にやさしいまちづくり	歩道設置を推進します	・緑越事業 歩道新設 L=50m 10月完成予定 ・歩道新設(今年度の事業は菅平振興施設建設事業に辺地債があてられるため、実施はない。)	・早期発注に努め、環境に配慮しつつ安全に工事を施工する。	◎	緑越事業 歩道設置 L=50m 変更により延長がL=50mからL=52mに増工となったが、9月に完成し、当初の計画より早期に事業目標が達成された。	真田建設課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち						
環境保全項目		環境にやさしい人をはぐくむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
5-1	環境にやさしい保育園づくり	環境教育の推進	保育園での環境教育・環境活動を推進し、環境に対する意識啓発を図る	「ばっくん」を使い、生ごみを土に還す事を環境教育として推進する。	搬出生ごみの減量 堆肥として菜園等での利用 園児及び保護者が興味を示すこと	○	・ 神科第一保育園に生ごみ処理機を導入した。 ・ 「ばっくん」を活用し、給食調理で発生する生ごみの一部をたい肥化した後、園内の菜園で利用し、環境教育を行うとともに、生ごみの減量について周知を行った。	保育園
5-1	国際規格審査登録助成事業	地球温暖化防止活動を推進する、環境にやさしい人をはぐくむ	ISO14000S等の国際規格を導入する事業者に対する補助金の交付	補助制度によりISO14000S等の国際規格の取得を支援	事業所を訪問し、助成制度について説明する。(5件)	◎	事業所訪問による周知(3件、年間6件) (経営実態調査の際に、約200社に対して書面にて周知)	商工課
5-1	学童農園事業	環境にやさしい人を育む	学校での環境教育・環境学習活動を推進します	・ 児童による田植えは、協力者、地方事務所の指導による手植え。 ・ 夏場はあぜ等の草取りを中心に田の管理を行う。 ・ 収穫は手刈りでを行い、はぜにかけ天日乾燥する。 ・ 脱穀、わらまき等も児童が主となって行う。 ・ 収穫祭に協力者を招き、全員で収穫を祝う。	・ 上田地域小学校(16校)の5年生 1,136人	◎		学校教育課
5-1	わがまち魅力アップ応援事業	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「自然・生き物・人が共生するまち」を実現するため、自治会や市民団体が行う環境保全活動等を支援・協力します。	わがまち魅力アップ応援事業の実施	実施団体目標 5団体	◎	新規採択事業6団体を含め、年間で22団体の事業を採択、事業実施にあたり環境保全への協力を促した。	丸子地域振興課
5-1	丸子地域自治センターだよりの発行	地域全体の環境保全に対する意識の高揚	上田市の環境目標「環境を思いやる人があふれるまち」を実現するため、自治センターだよりに環境保全に関する情報を掲載し啓発を行います。	丸子地域自治センターだよりの発行 ※環境保全に関する情報を掲載する。	各号に環境情報を掲載(計6回)	◎	計画どおり実施した。	丸子地域振興課
5-1	環境負荷低減の啓発事業	環境教育の推進	啓発活動を通じて環境保全の理解を深める。	・ 6月の環境月間に、展示コーナーに環境関係の本とパネル(環境保全協会から借用)を展示し、市民に啓発する。 ・ 11月頃本のリサイクル市を行い、除籍になった本の有効利用を図る。	・ 分野ごとに展示するなど見易さ、借り易さの工夫をする。 ・ リサイクル図書の入替えを行ない本の活用を図る。	◎	11月27日(日)に「リサイクルブックフェア」実施 持ち帰り冊数684冊	丸子図書館

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち						
環境保全項目		環境にやさしい地域をはぐくむ						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
5-2	うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	環境にやさしい地域をはぐくむ	うえだ環境市民会議を開催し、市民、事業者、行政とのパートナーシップにより環境改善活動を推進する。	うえだ環境市民会議主催の駅前清掃の支援	駅前清掃の支援3回	◎	10月に3回目を実施。 H28年度において3回実施した。	生活環境課
5-2	環境に関する隣保館事業の実施	環境にやさしい人をはぐくむ。	住民の環境に対する意識の高揚を図る。	①隣保館事業参加者に省エネ等エコ生活への呼びかけをし、イベントを通じ市民への環境啓発を図る。 ②隣保館事業「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えと寄植えを行う。市主催コンクールに応募する。 ③エコ料理教室を開催する。	①隣保館事業の開催数 95回 ②参加者数 25人 ③教室参加者数 10人	○	①隣保館事業の開催数90回(ゴミの持ち帰りの推進) ②隣保館事業「花を楽しむ会」で館周辺の花壇の花植えを実施 参加者数 24名参加 ③エコ教室参加者数 14名参加	丸子市民サービス課

環境基本計画基本目標		環境を思いやる人があふれるまち						
環境保全項目		環境活動を発信する						
環境基本計画	事務事業名	環境目的	環境目標	今年度の事業	今年度の目標	評価	年度末の状況	担当課
5-3	-	-	-	-	-	-	-	-